# えんちょう先生の わくわくだより

NO.11　7/8

## 七夕は星のお祭りだね

この日、（７／７日）遊戯室に入ると、七夕会の担当の先生達が、前日遅くまで掛かって、手作してくれたブラックシアターの準備と、座っているこども達の前の床には色とりどりの星が天の川らしく綺麗に敷き詰められています。そんな中で始まった七夕会でした。「みんなは、空のお星様を見たことある？どんな星があるか知ってる？に「一番星しってる！」「そうだね、空に一番に見える星は金星というんだよ。その他にも色んな名前の星があるね。キリン座とかイルカ座もあるんだよ」そして、七夕に出てくる織姫星は、琴座のベガという星、彦星はわし座のアルタイルという名前の星である事、こども達が知ってる！といった北斗七星は一年中みえる事である事など星についての話を聞きました。

さて、暗くした部屋で、ブラックシアターが始まりました。黒い画面に下からのライトで浮き出て、とても綺麗です。ピアノの音色がロマンチックな雰囲気を盛り上げてくれ、織姫と彦星の出会いや別れ、七夕の夜には一年に一度カササギの橋を渡って出会える事などの七夕のお話です。その後、みんなで、星の橋天の川をゆっくり渡って、七夕会の終了です。ちいさいひよこさんやうさぎさんも先生に手を引かれ、一つずつ星を踏みながら渡って行く姿がかわいかったです。部屋の前にはりっぱな笹飾りが揺れ、平和な夏っていいなあとつくづく思いました。

みんなで作った、飾りを笹に結びつけます。年長さんは、和紙でこよりを作ったね。「紙をよる」・・・指と指をこすり合わせて、紙をよる練習です。

**暗闇の中に浮き出て、本当に綺麗でした。昔から伝わる七夕の行事をこどもにこれからも伝えていきたいです**

頭に丸いわっかを乗せて遊ぶ２歳児のこども達です

年長の男の子達と虫をみながらの会話

Ａ「先生、家の畑に蛇がねとったに」

保「まるまっとったんだら？」

Ａ「おじいちゃんが、ぽーいと捨てたに」

Ｂ「先生、カモシカが家に来たんだよ」

保「へ～家にねえ？」

Ｃ「先生、ストッキングにバナナを入れて木に巻きつけておくと虫がくるよ　カナブンもね。」

保「じゃあ先生もやってみよかなあ」

Ｃ「先生、古いストッキングだに」

保「わかった！先生家には、破れたストッキングと腐りかけのバナナがあるで、それでやるわ」・・こどもってかわいいですね。

こどもは真剣に話を聞いてくれ、応えてくれる大人が好きなんです。子供の話をうわの空で聞き流さない様に忙しくてもちょっとひと手間を・・